福島のぶゆき国会日誌

＜有志の会　皇室継承についての意見書　衆議院正副議長に申し入れ＞

12 日、有志の会から額賀福志郎衆議院議長、海江田万里衆議院副議長に対して、皇位継承等についての意見書を提出いたしました。

これは、「天皇の退位等に関する皇室典範特例法案」の附帯決議に基づき「安定的な皇位継承を確保するための諸課題、女性宮家の創設等」について、令和 3 年 12 月に政府が検討結果を国会に報告しましたので、それに対して会派としての意見を申し述べたものです。

私たちがまず大事にしたいのは、皇位継承等を立法府で議論するに当たって先例のないことを可能とするのは極めて慎重であるべき、という私たちの基本姿勢です。その上で、私たちの会派は男系による継承を維持しながら、皇位継承について皇室の選択肢を増やすための皇室典範の改正を主張しております。

＜1 週間に 2 委員会 3 質疑＞

① 13 日、厚生労働委員会

武見敬三大臣に対してなぜ日本の医薬品産業や医療機器産業の国際競争力がないのかについて、薬価制度をその根本原因として議論いたしました。薬価制度の抜本的改革については武見大臣は明確な答弁を避けましたが、それ以外についてはご自分の知見も踏まえて誠実な答弁をいただき、充実した議論になりました。　審議は、ぜひ YouTube からご覧ください→

② 13 日、国土交通委員会

斉藤鉄夫大臣に対して、「盛土法」と「水道行政移管法」の法律施行後の役所の対応について問い質しました。私が、法案審議の時の問題があると指摘したことは、法律の施行段階で骨抜きにされていたり、こっそり私の指摘通りに変えていたりします。国会は、立法府。本来は国会で審議を通じて法律を修正したりしなければなりませんが、日本の国会の法案審議は形骸化しております。本当の政治改革とは、国会の立法機能を取り戻すことであると最後に訴えました。　審議は、ぜひ YouTube からご覧ください→

③ 15 日、国土交通委員会

奄美振興特措法及び小笠原振興特措法改正法案について質疑を行いました。

今般の法改正の一番の柱は「移住の促進」ですが、円安が進んでいる中移住の促進策が、国土保全や海洋権益維持に重要な奄美群島や小笠原諸島に外国人ばかりが来る結果にならないよう、政府は基本方針を定める時に留意すべきことを指摘いたしました。

沖永良部島では環境省の脱炭素化先行地域として、すべてのエネルギーを再生可能エネルギーで賄う事業が始まっています。実現には、それなりの資金提供と既存の法制度の特例が必要です。政府に必要な対応を取るよう求めたところ、斉藤大臣から前向きな答弁をいただきました。　審議は、ぜひ YouTube からご覧ください→

＜台湾国会議員団との面談＞

13 日、委員会の合間に、11 人の訪日している台湾の国会議員団と懇談いたしました。1 月の総選挙によってだいぶ顔触れが変わり、第一党となった国民党の新人も何人かいらしていました。訪日団の代表は、国民党のホープである江啓臣立法院副院長。2021 年のタイム誌「次世代の 100 人」にも選ばれた、私の二つ年下。これからの交流が楽しみです。

衆議院議員 福島伸享事務所【国会事務所】〒100-8982　東京都千代田区永田町 2-1-2　衆議院第二議員会館 419 号　☎ 03 - 3508 - 7262